

聞こえの相談 News

補聴器Q & A (2)

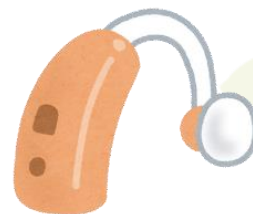
Q5 補聴器の種類や価格について知りたいのですが・・・

補聴器には耳あな型、耳かけ型、ポケット型(箱形)などの種類があります。それぞれの価格は、おおよそですが以下の通りです。

耳あな型 (¥7万～¥50万)



耳かけ型 (¥5万～¥40万)



他、ポケット型 (¥3万～¥9万) もあります。

Q6 補聴器はうるさいのですか？

聞こえが遠くなると、音の弱い静かな状態に耳が慣れてしまいます。そのため補聴器も**使いはじめはうるさく感じる人もいますので段階的な調整が必要です。**不快な大きな音は調整機能で抑制することができます。



Q7 雑音(ノイズ)が多いと聞きますが・・・

補聴器から聞こえる雑音は、実は今までに聞こえなかった周囲の騒音です。(残念ながら)補聴器は聞きたい音だけを拾うことができないため、**ざわついた場所では人の声と一緒に騒音も多くなります。**最近の一部の騒音を抑えられる機種もあります。聞きたい方向の音を自動的に選べる機能のあるタイプなら、より快適に使用できます。



次項につづく

Q8 ピーッとという音は止められますか？

聞きたい音を増幅してくれる補聴器ですが、使用中に音の漏れがあるとピーッと
いう音（ハウリング）が発生します。最近ではハウリング軽減機能搭載機種もあり
ます。使用前には常に耳穴に入れてからスイッチを入れ、ピッタリと装着する
ようにしてください



Q9 補聴器は両耳で使うべきですか？

私たちの耳は二つあり、そのことが音の方向を知り、聞きたい音だけを選んで
知覚し、聞き取りやすくしたりするのにとても役立っています。片耳だけにかかる
負担も軽減できて自然で立体的な聞こえになるため、
一般的には両耳への装着をおすすめしています。



Q10 補聴器は何年ぐらい使えますか？

耐用年数の目安は5年とされていますが、汗をかくことが多いと短期間で故障
したり耳垢が多い方では耳あな型の音の出口が詰まりやすかったりと、使い方
により大きく異なります。補聴器の調子が悪い、聞こえにくいと感じたら、早めに
専門店にご相談ください。

